

評価委員からの主な意見

意見聴取 令和5年度第2回大分県地方独立行政法人評価委員会

日時：令和5年10月25日（水）13：00～15：00

場所：大分県庁舎本館6階 防災活動支援室1

○ 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学第4期中期目標（案）

- ・教育研究等の質の向上に向けて取り組んだ結果、学生や教員がコンテストで受賞したこと、就職率の向上につながったことは評価できる。第4期も継続した教育の質の向上が望まれる。
- ・少子化への対応、公立大学としての役割・責務、芸術系と人文系の併設、2年間という就学年数を念頭においた指標の設定が重要
- ・国際交流の推進を積極的に行い、魅力ある大学づくりに努めてもらいたい。
- ・施設や設備を県民へも開放し、地域社会へ貢献することを期待する。
- ・教員が地域貢献につながる成果を上げられるよう、教員の能力向上や研究環境の整備に関する取組が必要
- ・ハラスメント対策については大学側の取組だけでなく、県もしっかりとモニタリングすること。

○ 公立大学法人大分県立看護科学大学第4期中期目標（案）

- ・大分県の公立大学としての役割・責務（地域社会への貢献、県内就職率の向上、看護者教育のレベルアップ、地域医療機関のレベルアップ、産学官および地域医療機関との連携など）を念頭においた目標設定が重要
- ・社会貢献を通じて、豊かな人間性を育てていただきたい。
- ・地域的課題等に対する積極的な研究活動の取組みに期待したい。
- ・高校・大学間を通じた地域医療を担う優れた専門人材を育成するためのコンソーシアム（連携関係による共同事業体）構築を加えてはどうか。
- ・大分県が進める地域保健医療をはじめ看護・福祉領域における政策提言に期待したい。
- ・今後は変動する時代に即したリカレントやリスクリング対応を図ることも社会的に強く求められている。